

WEEKLY NEWS 2016 週報 通算 2212回 《25回》

第2640地区

和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>



人類に
奉仕する
ロータリー

会長 土屋一博 幹事 中曾真二郎
会報委員長 山本真司

例会日：水曜日 例会場：Mエール華月殿
第1・第2:18:30～(夜)
第3・第4・第5:12:30～(昼)
事務局 E-Mail
a-rotary@coral.cypress.ne.jp

本日の例会

1月25日(水)
12:30～華月殿

- ・開会点鐘 土屋会長 ・ローラーソング：花になろう鳥になろう ご結婚記念日お祝い
- ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告
- ・会員卓話「酉年生まれ会員」平会員、「ゴルフの魅力と6つの基本」中曾幹事
- ・閉会点鐘 土屋会長

先週例会報告 会場監督 山田さち子

ゲスト：(株)清水一芳園 代表者 清水和正様

会長挨拶

土屋 一博 会長



皆様こんにちは。本日のゲスト 清水様 ようこそお越し頂きました。
本日は卓話楽しみにしています。

当月はロータリーの友誌にも有りますが、「職業奉仕月間」となっています。一番身近で分かりにくい、理解しにくいとされています。(言われてきました。) というのも、この奉仕については具体的なプロジェクト・プログラム・個別な活動が当てはまりにくいからです。しかしながら、私達のロータリーの目的(活動計画書の表紙の裏にある)の第2項目では「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事」これを解釈するなら「奉仕の理念の職業への適用」となる訳です。

これは、ロータリアン自身がしっかり会社の運営(仕事)を行い、社員に給与を支払い、しっかり税金を納めることとなり、昔から先輩方にもそう聞いてきました。ただ、2016年規定審議会では、制提案16-10 奉仕の第2部門を改正する件で採択され今までの職業奉仕の定義に「自己の職業上の手腕を社会の問題ニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」という文言が入りました。これで「職業奉仕」もクラブ活動の枠組みであることが明確になったとされています。

昨年RIでは、個人のロータリアンに特別な特典を与えることなどが昨年の国際大会で紹介されましたし、ロータリー財団のグローバル補助金を使って行うVTT(職業研修チーム)職業奉仕の具体的な活動とされています。

「活動」か「理念」かが、RIと日本のロータリアンの考え方の違い、ズレがあることが職業奉仕の理解しにくい理由だと考えます。

皆様はどうお考えでしょうか。

今月号のロータリーの友誌の横書き14ページから17ページを読んで参考にさらに深く勉強させて頂きました。

以上です。



和歌山東南ロータリークラブ

ニコニコ	米山記念奨学会	ローラー財団	東南育英会	
累計	1,561,617	283,000	220,200	26,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	42名	1/18	25名	60.98%
出席免除会員	3名	12/25	33名	76.74%

幹事報告

中曽真二郎 幹事

- ① 和歌山北 RC 明良修身会員ご母堂がご逝去されました。クラブより弔電をお送りしています。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ② 5件各テーブルに一部置いてあります。お目通しいただき御入用の方はお持ち帰りください。
 - ・ガバナー月信 12月号
 - ・アンコール小児病院支援プロジェクト報告書
 - ・RI 会長からのメッセージ「ロータリーのストーリーを力強く伝えていくために」
 - ・とらふす学園より「クリスマスツリー点灯式」出席のお礼状と領収書
 - ・第 40 回障害児者家族のつながりを広める文化祭への寄付金領収書



ニコニコ箱

谷口 拓 会計

土屋君・清水様卓話大変楽しみにしています。限られた時間ではありますが宜しくお願いします。

中曽君・清水様 ようこそお越しくださいました。本日卓話どうぞ宜しくお願い致します。

稲葉君・新年のご挨拶 賀状ありがとうございました。

中谷君・本日はすこしはやくに失礼させていただきます。

ご本人お誕生日お祝い・市川君、松浦君、中曽君。

配偶者お誕生日お祝い・中板君、神谷君。



1月お誕生日お祝い(ご本人・配偶者)



「表彰」 米山功労者 第21回メジャードナー 神谷尚孝会員



クラフフォーラム 職業奉仕委員会

卓話 (株) 清水一芳園 代表者 清水和正様

「お茶のお話・特定保健用食品の問題について」



■ 急須の無い家庭が増えている

ある幼稚園の文化委員会では13人中10人の家庭が急須を持っていなかった。

理由: 食文化の継承が出来ていない(淹れ方が分からない、自信が無い)

今更恥ずかしくて聞けない

ファッション性に欠ける

■ 食後にコーヒーや紅茶

お茶は飲まない或いはペットボトルの緑茶を飲んでいる

■ ペットボトルの緑茶

(A) タイプ

原材料は緑茶(国産)・ビタミンC

ビタミンCの正体 Lアスコルビン酸(合成ビタミンC)という酸化防止剤
体内で大量の活性酸素を発生させる

(発癌性があるという研究データがある)

(B) タイプ

緑茶(国産)・お茶葉抽出物(国産)・ビタミンC・香料(一部商品)

生茶葉抽出物とは茶葉(国産・外国産)を酵素分解して渋味のカテキン、
うま味のテアニンを粉末状にしたもの

これで味を合成する。これに酸化防止剤を加えたもの

(C) タイプ(特定保健用食品)

緑茶(国産)・茶抽出物(茶カテキン)・環状オリゴ糖・ビタミンC

350ml中540mgの茶カテキンが入っている

商品名「ポリフェノン」

謳い文句「脂肪を燃焼しやすくする」

しかし・・・

ポリフェノン540mg入りのサプリを飲み続けたカナダ人女性が重大な肝機能障害
を起こしその後同様の症状を訴える人が各国で続出。

因果関係が認められるとしてカナダ、フランス、イタリア、スペインでは販売禁止、
アメリカでは健康表示義務商品になっている。

しかし日本では特定保健用食品

矛盾を感じている

■ 添加物は消費者のために加えられているのではない

メーカーのためのもので注意が必要

■ 多少の手間がかかっても伝統的な手法(安全、安心が得られる)でお茶を飲んで頂けるように努力し続けていきたいと思っている



国際ロータリーのライズリー次期 会長が次年度のテーマを発表

ニュース、
MY ROTARY FRONT
PAGE
09-Jan-2017
より抜粋

16日(月)、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H.S. ライズリー氏(オーストラリア、サンドリングラム・ロータリークラブ所属)が講演し、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。次期地区ガバナーに向けて講演したライズリー氏は、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。

環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であると、ライズリー氏は述べます。「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわらず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません」環境悪化は、国連の「脅威、挑戦および変革に関するハイレベル・パネル」によっても主な脅威のひとつとされています。

ライズリー会長エレクトは次のように続けます。「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」

会長エレクトはさらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。

「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。しかし、それよりもっと大きな影響があると願っています」と会長エレクト。「それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」

【ロータリーの未来を守る】

ライズリー会長エレクトはさらに、2017-18年度地区ガバナーに向け、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

ロータリーにおける女性会員の割合は、10年前の13パーセントよりは増えたものの、現在も全体の22パーセントにすぎません。このペースだとロータリーが男女均等を実現するまでにあと30年かかると、ライズリー氏は述べます。

「私たちの住む世界を反映したロータリーを実現するために、30年も待っていただけません。今、これに優先して取りかかる必要があります」

539名の次期ガバナーのうち103名が女性であることに触れた上で、会長エレクトは「地域社会のすべての人とつながり、すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要としていると述べました。さらに、現会員のうち40歳未満はわずか5%であり、会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」

会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワークが必要であると力説しました。

「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています。」(中略) このチームワークと協力の精神を忘れずに、地区に戻って実践してください」

